

平成19年 第17回定例県教育委員会会議 教 育 長 報 告

I 報告事項

平成19年度 全国学力・学習状況調査の結果について

II 事項の説明

1 調査の目的

- (1) 全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力・学習状況を把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、学校等が全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図り、併せて児童生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげる。

2 調査の対象学年

- 小学校第6学年、特別支援学校小学部第6学年の全児童 (16,093人)
- 中学校第3学年、特別支援学校中学部第3学年の全生徒 (15,745人)

3 調査の内容

(1) 教科に関する調査

主として「知識」に関する問題 〔国語A、算数・数学A〕	主として「活用」に関する問題 〔国語B、算数・数学B〕
<ul style="list-style-type: none"> ・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容 ・実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等 	<ul style="list-style-type: none"> ・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力などにかかわる内容 ・様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などにかかわる内容等

(2) 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
<ul style="list-style-type: none"> ・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸面等に関する調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備状況、児童生徒の体力・運動能力の全体的な状況等に関する調査

4 調査結果の概要

(1) 教科に関する調査の結果について

◎小学校国語 (平均正答率)

	A:「知識」	B:「活用」
本県	76.7%	53.0%
全国	81.7%	62.0%
差	-5.0	-9.0

◎小学校算数 (平均正答率)

	A:「知識」	B:「活用」
本県	76.3%	54.3%
全国	82.1%	63.6%
差	-5.8	-9.3

☆中学校国語 (平均正答率)

	A:「知識」	B:「活用」
本県	74.3%	64.0%
全国	81.6%	72.0%
差	-7.3	-8.0

☆中学校数学 (平均正答率)

	A:「知識」	B:「活用」
本県	57.2%	47.6%
全国	71.9%	60.6%
差	-14.7	-13.0

(2) 児童(生徒)質問紙調査の結果について

① 普段(月～金)、何時ごろ起きますか

		6:30 以前 ← → 6:30 以降	
小学校	本県	27.0	73.0
	全国	34.4	65.5
中学校	本県	26.5	73.4
	全国	31.7	68.1

☆小・中学校とも、全国より起床時刻が遅い。特に小学校が遅い。

*学校が近いこと
*位置が西にあること 等
(夜明けが遅い)

② 普段(月～金)、何時ごろ寝ますか

		11:00 以前 ← → 11:00 以降	
小学校	本県	76.6	23.4
	全国	82.5	17.5
中学校	本県	37.2	62.9
	全国	29.8	70.1

☆小学校では、全国より就寝時刻が遅い。

☆中学校では、全国より早く寝ている。

*中学生の勉強時間が短い。

③ 普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、テレビやゲーム等をしますか

		2時間以内 ← → 2時間以上	
小学校	本県	42.3	57.6
	全国	39.9	60.0
中学校	本県	83.5	16.4
	全国	76.7	23.1

☆小・中学校とも全国よりゲームをする時間が短い。
☆中学校のゲームする時間は小学校の3分の1程度
*部活動に費やす時間が長い。

④ 学校の授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか

		1時間未満 ← → 1時間以上	
小学校	本県	37.7	62.3
	全国	42.1	57.9
中学校	本県	45.1	54.6
	全国	34.8	65.0

☆勉強時間は、全国より小学校は本県が長く、中学校は全国が長い。
*塾に通う子は家庭での勉強時間が短い。
*家庭学習の内容の充実

⑤ 国語〔算数（数学）〕の勉強が好きな児童（生徒）の割合

	小学校(国)	中学校(国)	小学校(算)	中学校(数)
本県	56.5%	53.9%	68.0%	53.0%
全国	59.6%	56.8%	65.0%	51.0%

☆小・中学校とも、国語は全国が、算数・数学は本県の割合が高い。
*（算数・数学）指導方法工夫改善の加配が多く配置され、個に応じた指導が充実。

⑥ 読書が好きな児童（生徒）の割合

	小学校	中学校
本県	79.2%	63.8%
全国	71.3%	67.9%

☆小学校は本県が、中学校は全国の割合が高い。
*中学校では長編読み物などを敬遠するようになってきている。

⑦ 将来の夢や目標を持っている児童（生徒）の割合

	小学校	中学校
本県	84.6%	71.6%
全国	83.7%	70.7%

☆小・中学校とも全国より夢や希望を持つ子が多い。
☆小学校が中学生より夢や希望を持っている子が多い。
*「夢・にぬふあ星プラン」やキャリア教育の成果

(3) 学校質問紙調査の結果について

① 児童生徒に対して『朝の読書』などの一斉読書の時間を設定している学校の割合

	小学校	中学校
本県	98.2%	96.1%
全国	92.0%	84.6%

*県調査では、すべての小・中学校で朝読書を行っている。

② ICTを活用した授業を行っている学校の割合

	小学校	中学校
本県	91.9%	87.6%
全国	86.4%	80.0%

*学力向上対策で、コンピュータ操作活用能力を取り上げて取り組んできた。

(4) 各教科における無回答率について

	小国A	小国B	小算A	小算B	中国A	中国B	中数A	中数B
本県	3.9%	15.0%	1.8%	11.1%	6.3%	7.9%	8.0%	22.4%
全国	2.0%	8.7%	1.1%	5.9%	3.5%	5.2%	4.1%	14.4%

☆答えを記入しない無回答率が全国平均の約2倍ある
*ねばり強く問題を解こうとする態度や意欲に問題がある。

(5) その他

- 小学校国語・算数、中学校国語においては、上位に山があるものの、全国に比べ低い。中位の割合が全国を上回っている。（正答数分布グラフから）
- 小学校算数の「数量関係」、中学校の「書くこと」「言語事項」で落ち込み。→「繁茂」

5 文部科学省への要請

- (1) 学力調査官等による助言について
- (2) 中学校における「学力サポーター」の配置について
- (3) 教職員の加配措置について
- (4) 「学力改善推進モデル事業」の実施について

6 今後の取組

(1) 全国学力・学習状況調査 沖縄県検証改善委員会の設置

- ① 調査結果の分析
 - ・各教科の「知識」「活用」の結果、児童生徒の学習環境と学力との相関関係の分析 など
- ② 学校改善支援プランの作成
 - ・学習到達度の分析と教科指導・授業改善支援
 - ・教師、保護者向けリーフレットの作成（授業改善、家庭教育等）

(2) 学力向上対策の推進

- 学力向上対策の充実、市町村教育委員会、学校、家庭、地域が連携した取組の強化